

天の川が流れる街

広報かみのくに

今年も会えたね!



7月

No.623

天の川

町の中心部を流れる天の川は、渡島山地の分水嶺に源を発する、自然豊かな流域延長二八・六kmの二級河川です。

元和四年（一六一八）キリスト教イエズス会の宣教師ジエロニモ・デ・アンジュリスがヨーロッパ人最初の北海道上陸を果たし、その三年後、作成した蝦夷地図の上陸地点に「ツガ」と表記されていたことから、上ノ国の古名ツガ（テガ）の漢字表記「天河」が天の川の名前の由来であると言われています。

天にかかる「天の川」と同様に、古くから親しまれ、上ノ国の歴史を静かに見守っています。

Photo : 天野川

特集 明治から続く夷王山まつり

上ノ国町民憲章（昭和47年8月14日制定）

わたくしたちは、北海道夜明けの地にいきる上ノ国町民であることに誇りをもち、祖先の偉業を受けつぎ、恵まれた大自然を愛し、町民一人ひとりが自覚と責任をもつて、調和のある明るい町づくりにつとめます。



1. 健康で明るく、しごとにはげみ、住みよい町をつくりましょう。
2. 生産のくふうにつとめ、力を合わせ、豊かな町をつくりましょう。
3. きまりを守り、環境をととのえ、美しい町をつくりましょう。
4. 自然を愛し、文化を育て、希望にみちた町をつくりましょう。
5. 老人をうやまい、子供の夢をのぼし、楽しい町をつくりましょう。